

統計精度向上の取組の具体化に向けて ～統計精度に関する検査について～

平成 28 年 10 月 28 日
統計委員会担当室
政策統括官（統計基準担当）

統計精度に関する情報開示基準（案）

検査基準 検査事項 検査内容: 情報開示状況

標本設計

水準	基準
0	標本設計に係る説明がない。
1	標本設計の特徴(サンプルサイズ、一次抽出単位の数、ローテーションの状況等)が簡潔に説明されている。
2	標本設計の方法(一次抽出単位の層化の変数と方法、一次抽出単位内での層化と抽出方法等)が説明されている。
3	標本設計について、標本抽出が再現できるほど、詳細に説明されている。

情報収集方法（調査方法）

水準	基準
0	データ収集に係る説明がない。
1	データ収集の特徴(郵送、オンライン、訪問等)が簡潔に説明されている。
2	データ収集方法がより詳細に説明されている。
3	非回答、アンダーカバレッジ、回答のばらつき等を減らすために講じられるデータ収集の措置(督促方法等)が説明されている。

推計方法

水準	基準
0	推計に係る説明がない。
1	推計の特徴(参考系列を含む。以下同様。)が簡潔に説明されている。
2	非回答の調整など、具体的な推計方法が説明されている。
3	推計方法について、結果が再現できるほど、詳細に(欠測値や外れ値の処理等)説明されている。

標本抽出（精度関連情報：非標本誤差）

水準	基準
0	カバレッジ誤差に係る説明がない。
1	<ul style="list-style-type: none"> カバレッジ誤差が非標本誤差の1つとして明確に言及されている。 目標母集団及び母集団名簿(事業所母集団DB等)が明確に説明されている。
2	カバレッジ率等、全体のカバレッジに係る状況が数値で提供されている。
3	部分母集団のカバレッジに係る状況が数値で提供されている。

回収状況（精度関連情報：非標本誤差）

水準	基準
0	非回答誤差に係る説明がない。
1	全体の(調査単位)非回答率(又は回答率)が、定義とともに、提供されている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 調査事項の非回答率が、定義とともに、提供されている。 重み付き・重み無し調査単位非回答率が、定義とともに、提供されている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 部分母集団の非回答率が、定義とともに、提供されている。 欠測値補完方法が説明されている。

データ処理方法（精度関連情報：非標本誤差）

水準	基準
0	データ処理による誤差に係る説明がない。
1	データ処理による誤差が明確に言及されている。
2	データ処理による誤差の詳細な要因が説明されている。
3	<ul style="list-style-type: none"> データ入力エラー率、格付けエラー率が提供されている。 編集ミス率がまとめられている。 外れ値の処理方法が説明されている。

標本誤差

水準	基準
0	標本誤差に係る説明がない。
1	標本誤差が誤差の1つとして説明されている。
2	代表的な推定値に対して標本誤差(数値)が示されている。その計算方法が説明されている。
3	(ほぼ)全ての推定値に対して標本誤差(数値)が示されている。その計算方法(モデル等)が説明されている。

他統計との比較・分析

水準	基準
0	他の類似統計(参考系列や標本分布状況を含む。以下同様。)に係る説明がない。
1	他の類似統計との差異について説明がなされている。
2	他の類似統計との比較を示す表や図がある。
3	他の類似統計との詳細な比較分析が行われ、その結果が公開されている。

調査票の構成等の影響(精度関連情報:非標本誤差)

水準	基準
0	測定誤差に係る説明がない。
1	測定誤差が明確に言及されている。
2	測定誤差の詳細な要因が説明されている。
3	測定誤差についての研究が実施され、その結果が公開されている。

測定誤差とは、調査票のデザイン・内容・言葉遣い、調査方法(郵送か調査員か等)、調査員の質、委託先の質、回答者の経験・知識・態度などによって生じる誤差

※ この他に公開状況を確認すべきものはないか。

期待される効果

- ◇ 基準が明確化されること、及び優良事例が明確化されるため、各府省の情報公開に対する自主的な改善の取組が期待できる。
- ◇ 検査官とコミュニケーションをとることで、開示コンテンツに関するアドバイスを受けることができ、経験の浅い職員でも情報公開の対応が進みやすい。

標準検査（２）（回収状況検査）

検査基準、検査内容

検査基準

検査の対象となった統計調査の回収率が、同様の調査手法、調査対象である他の統計調査と比較して明らかに低いと判断される場合、比較した他の統計調査における情報（回収率向上方策）を提示し、同様の取組ができないか確認する。

期待される効果

- ◇ 検査官とコミュニケーションをとることで、経験の浅い職員でも優良事例の情報を得やすく、効率的に対応できる可能性が高まる。